

参考資料

2016年度中間期 業績の概要

2016年11月14日
ソニー銀行株式会社

損益の状況(1):財務会計ベース

<連結・単体>

金額は億円未満切捨て、%は四捨五入で表示

(億円)

<連結>

- **業務粗利益**
前年同期比7億円減少の115億円。
- **経常利益**
同16億円減少の17億円。
- **親会社株主に帰属する中間純利益**
同10億円減少の11億円。

<単体>

- **業務粗利益**
同9億円減少の100億円。
資金運用収支は、円金利低下の影響はあるものの住宅ローンの業容が拡大し、改善。
一方、役務取引等収支とその他業務収支は、お客さまの外貨や投資信託の取り引きに伴う手数料収入の減少や支払保証料の増加などにより、減少。
- **経常利益**
同17億円減少の16億円。
業務粗利益の減少に加え、カードローンに係る広告宣伝費や住宅ローンの実行に伴う営業経費が増加し、減益。
- **中間純利益**
同11億円減少の11億円。

	<6ヶ月累計>	2015年度 上期	2016年度 上期	前年同期比	
連結	業務粗利益	122	115	△7	△6.0%
	経常利益	34	17	△16	△47.7%
	親会社株主に帰属する 中間純利益	22	11	△10	△48.9%
単体	業務粗利益	109	100	△9	△8.2%
	資金運用収支	80	84	+3	+4.9%
	役務取引等収支	2	△5	△7	—
	その他業務収支	27	21	△5	△21.7%
	営業経費	76	84	+7	+10.0%
	業務純益	33	16	△16	△50.0%
	経常利益	33	16	△17	△52.0%
	中間純利益	22	11	△11	△50.4%

損益の状況(2): 社内管理ベース

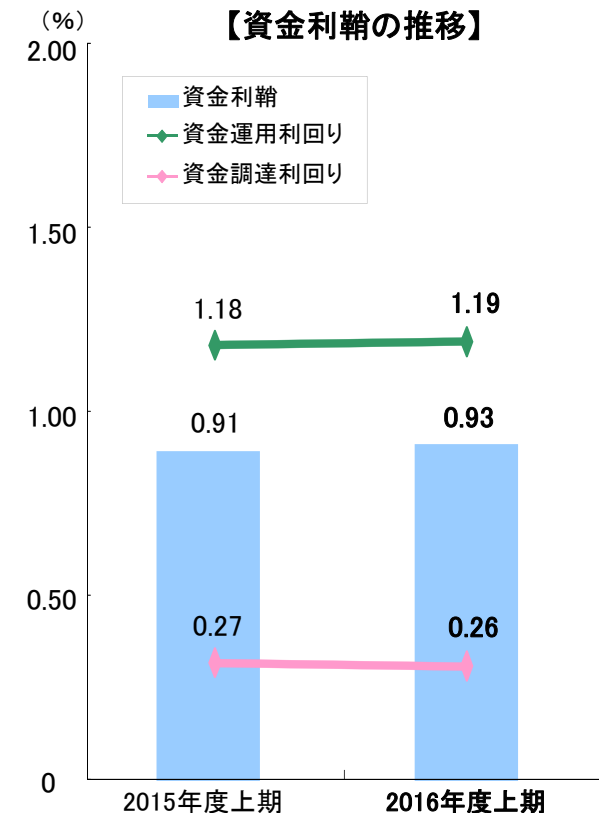
< 単体 >

- コアベース業務粗利益は前年同期比4億円減少の94億円。
資金収支は、円金利低下の影響はあるものの、住宅ローンの業容拡大と外貨運用に係る収益増加により、増加。
手数料等収支は、お客さまの外貨や投資信託の取り引きに伴う手数料収入が減少したことに加えて、支払保証料が増加し、減少。
- 資金利鞘は0.93%と、貸出金利回りの低下を外貨運用に係る利回りの上昇が下支えし、一定の水準を維持。

(億円)

<6ヶ月累計>	2015年度 上期	2016年度 上期	前年同期比	
業務粗利益	109	100	△9	△8.2%
資金収支*1①	91	97	+5	+5.8%
手数料等収支*2②	7	△2	△9	—
その他収支*3	10	5	△4	△45.9%
コアベース業務粗利益(A) =①+②	99	94	△4	△4.2%
営業経費等③	76	84	+7	+9.8%
コアベース業務純益 =(A)-③	22	10	△11	△52.5%

金額は億円未満切捨て、%は四捨五入で表示



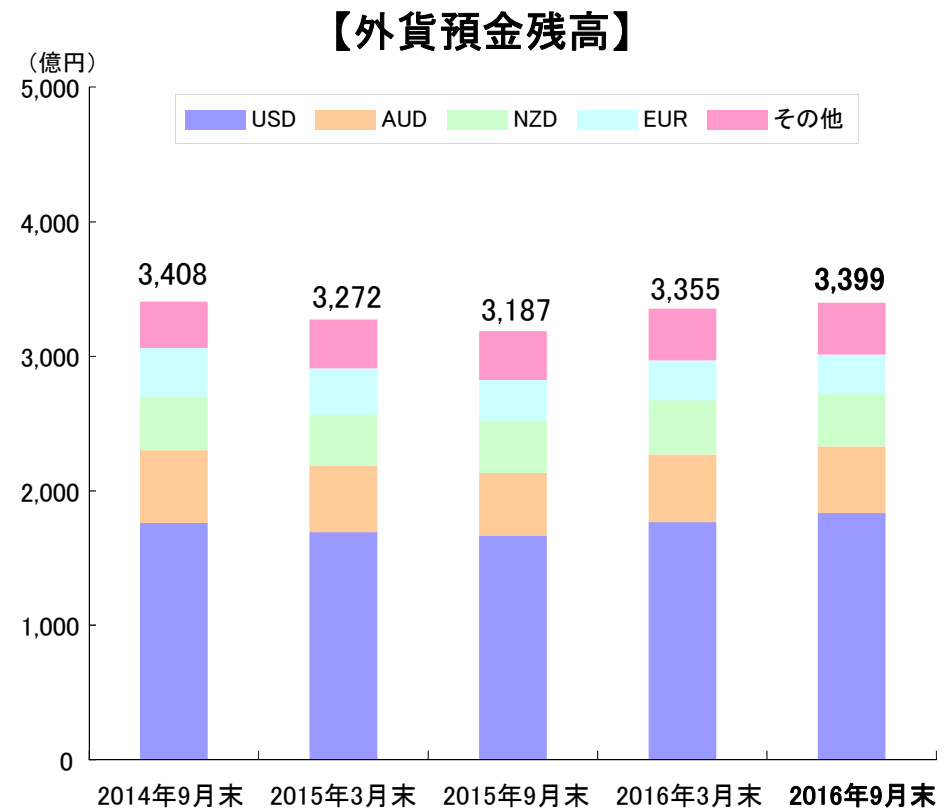
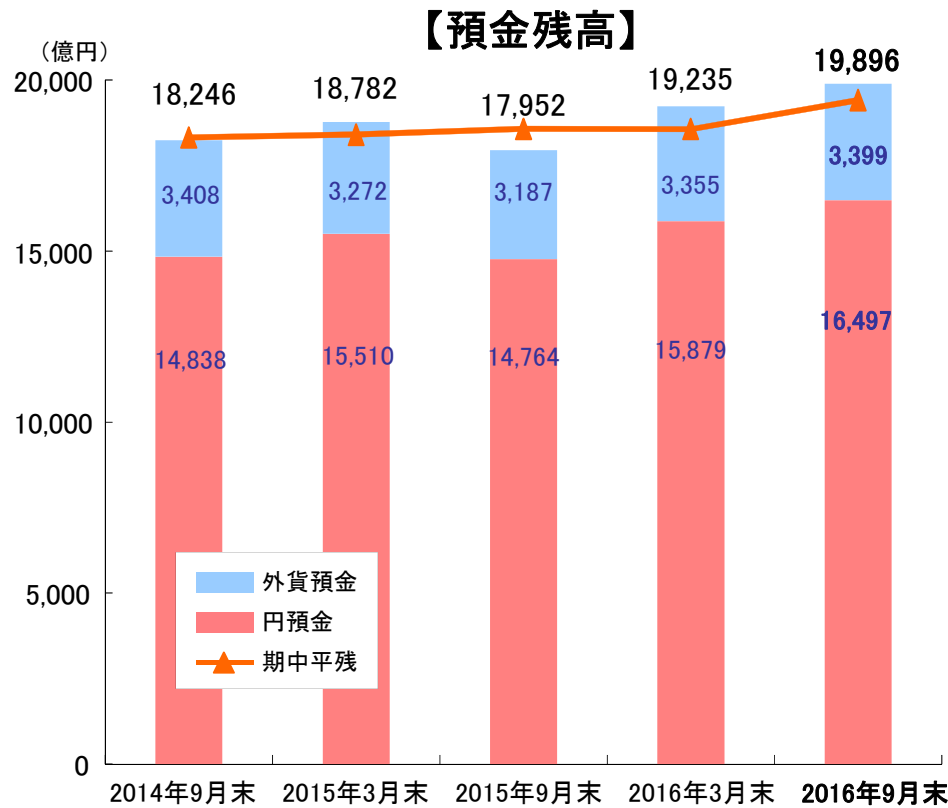
- 社内管理ベース 損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの
 - *1 資金収支…資金運用収支+その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)
 - *2 手数料等収支…役員取引等収支+その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益
 - *3 その他収支…その他業務収支より*1と*2の調整分を控除したものの。主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益
- コアベース 社内管理ベースのその他収支(主に債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、当社の基礎的な収益を表すもの

預金の状況

<単体>

- 預金残高は前年度末比661億円増加の1兆9,896億円。円預金残高は主に定期預金の増加により増加。外貨預金残高は円高による円換算の影響があったものの増加。
- 2016年9月末の預かり資産残高(預金+投資信託)は2兆957億円、口座数は119万件。

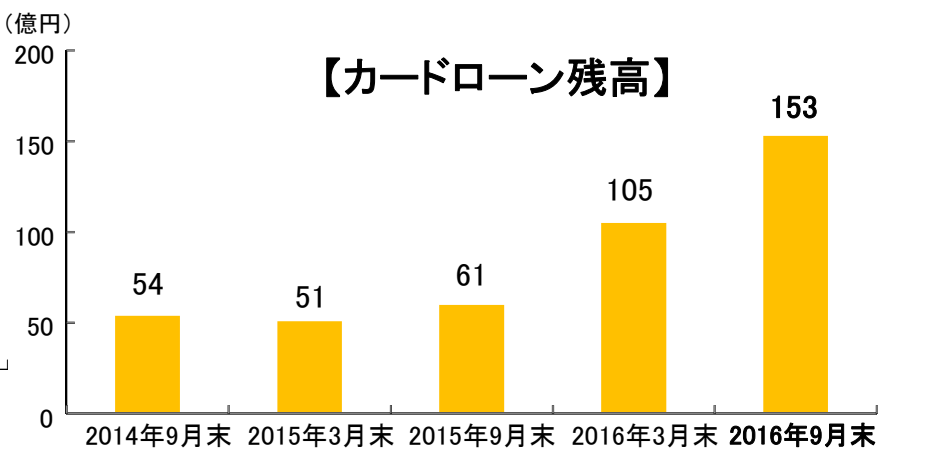
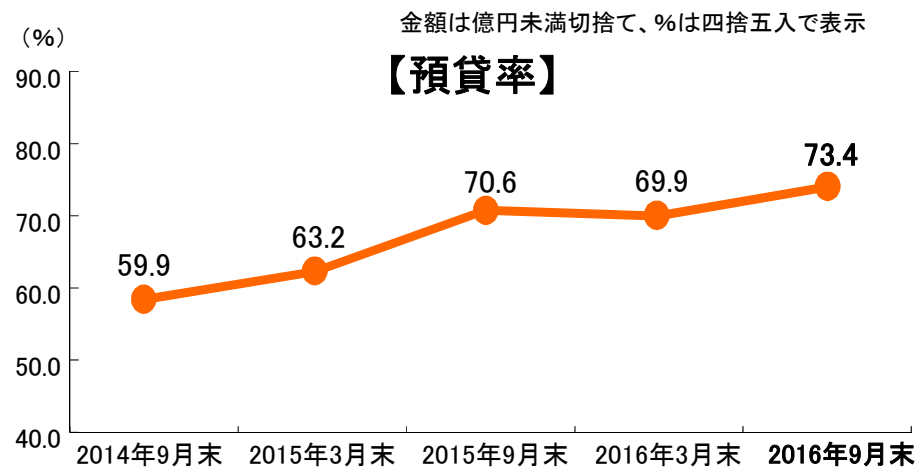
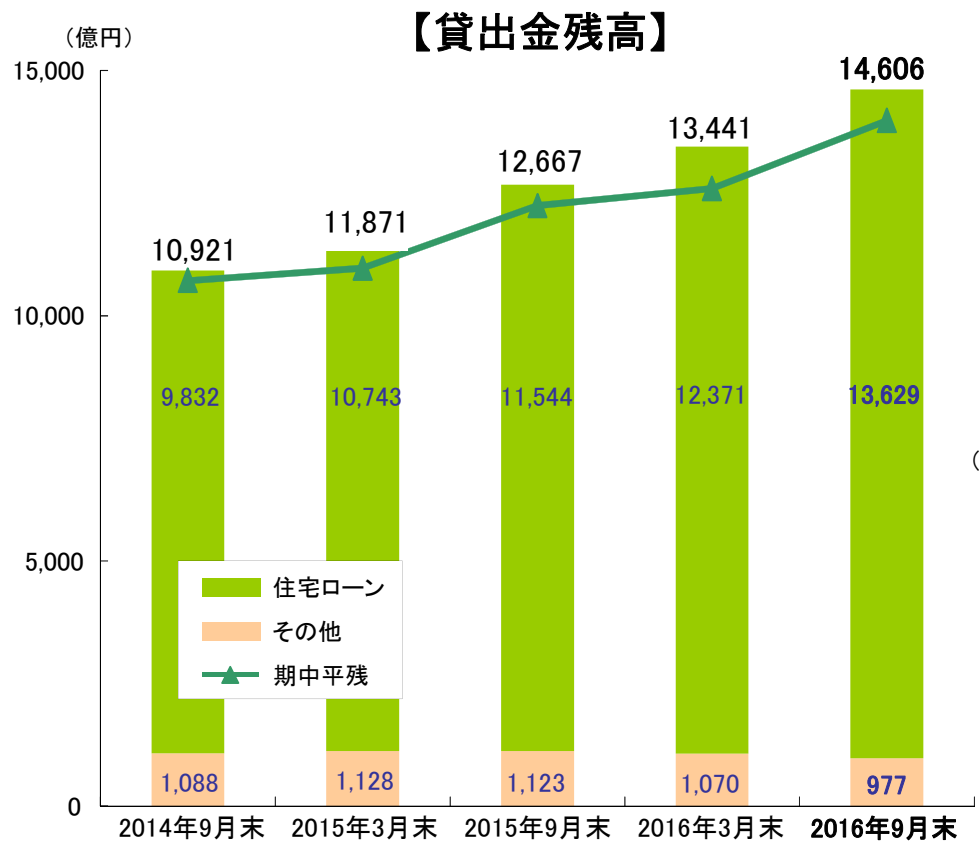
金額は億円未満切捨てで表示



貸出金の状況

＜単体＞

- 貸出金は借り換え需要の好調により住宅ローンが増加し、残高は前年度末比1,165億円増加の1兆4,606億円。
- 2015年7月に再開したカードローンも順調に積み上げ、残高は同48億円増加の153億円。



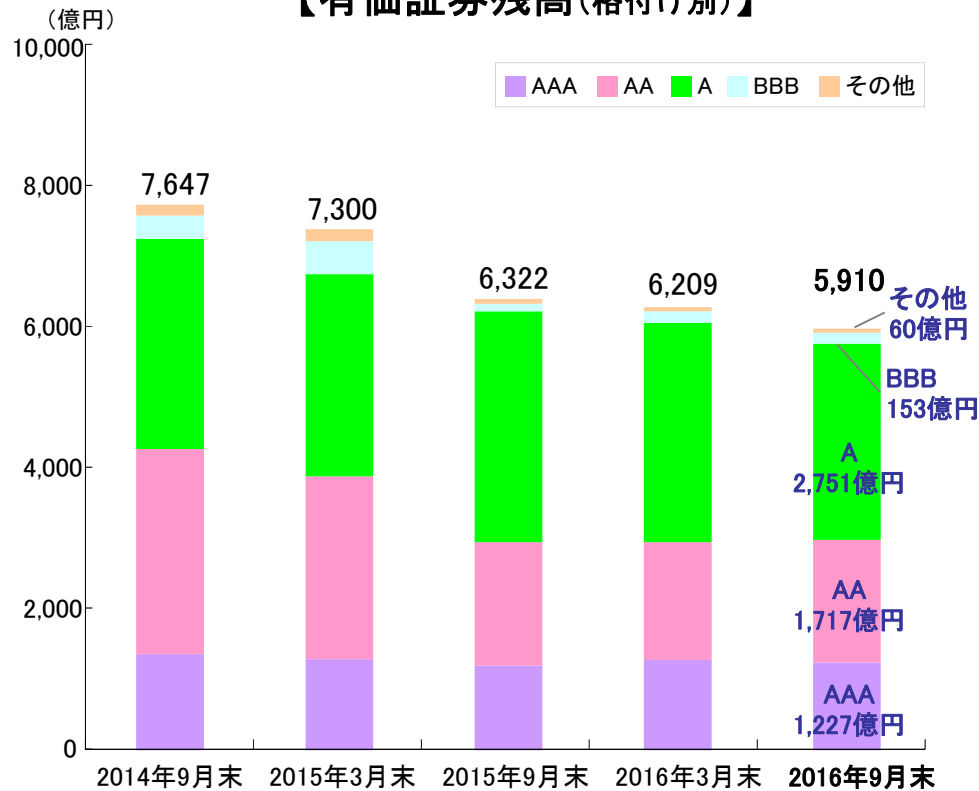
有価証券の状況

< 単体 >

- 有価証券は、高格付けの債券で安定的に運用。引き続き、AAA～A格の債券が全体の9割強を占める。残高は前年度末比299億円減少の5,910億円。
- その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)は48億円。

金額は億円未満切捨てで表示

【有価証券残高(格付け別)】



【その他有価証券の内訳】

(億円)

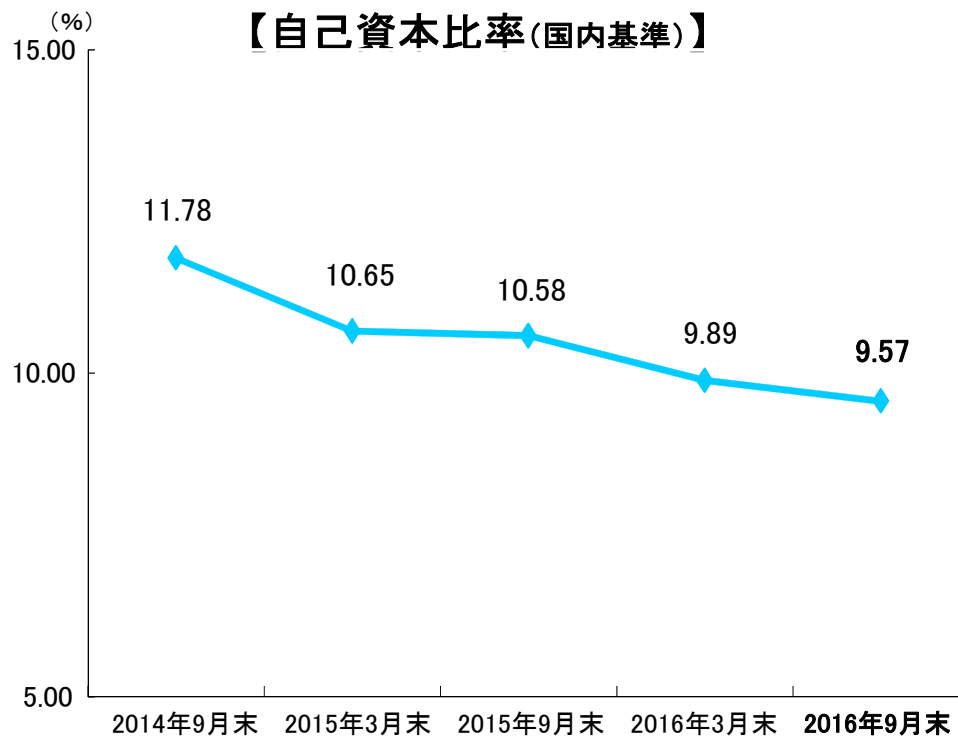
	2016年3月末	2016年9月末
債券	1,756	1,734
国債	735	735
地方債	378	367
社債	643	631
その他	4,359	4,079
外国債券	4,310	4,033
その他の証券	48	46
合計	6,115	5,814
< その他有価証券評価差額金 (税効果会計適用前) >	< 41 >	< 48 >

※時価のあるその他有価証券の貸借対照表計上額内訳
 貸借対照表の「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載
 その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)の金額は億円未満四捨五入で表示

自己資本比率・格付け情報

<単体>

- 自己資本比率は9.57%と健全な水準を維持。



【格付け(2016年9月末現在)】

スタンダード&プアーズ	
長期カウンターパーティ格付け「A」	アウトルック「安定的」
短期カウンターパーティ格付け「A-1」	
日本格付研究所	
長期発行体格付「AA-」	見通し「安定的」

※平成18年金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出。なお、2014年3月末より、バーゼルⅢベースへ移行。

2016年4月以降の主なサービス拡充施策(2016年10月発表分まで)

● 外貨を「貯める」「使う」、そして「殖やす」へ

- ・スマートフォンで簡単、便利に円と外貨預金の残高や取引履歴などが確認できる「Sony Bank WALLETアプリ」をリリース(2016年4月)
- ・外国為替チャートの機能を拡充(2016年4月)
- ・外貨送金(仕向け送金)の手続きをWeb化(2016年8月)
- ・米ドル建てアクティブ運用ファンド6本の取り扱いを開始(2016年10月)
- ・15歳以上の未成年のお客さまもSony Bank WALLETで外貨決済が可能に(2016年11月)

● より使いやすいWebサービスへ

- ・スマートフォンサイトのトップページをより見やすく、使いやすいデザインにリニューアル(2016年9月)
- ・外部の自動家計簿・資産管理サービスへの情報連携を強化(2016年10月)
- ・投資信託サイトについてスマートフォンでも使いやすく一新(2016年10月)